東京学芸大学
学大スポーツ
発行所 〒164-0013
東京都中野区
弥生町4-11-15
学大スポーツ新聞社
03(3381)1457

硬式野球

東京新大学野球1部と2部の入れ替え戦

首都大学東京に勝って、1部に残留!!
秋の活躍に期待がふくらむ!

第1戦は完封勝利

▼6月8日 岩槻川通

東京学芸大（1部）
0 0 0 1 1 0 0 4 × 6
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
首都大学東京（2部）

・学芸大 萩沢○～飯出
・2塁打 三宅、大野

エース萩沢は、立ち上がりこそ少し苦しんだが、8奪三振、無失点の好投。学芸大は8回に打線がつながって4得点。

第2戦は序盤のリードで

▼6月9日 岩槻川通

東京学芸大（1部）
0 0 3 1 0 3 0 0 0 7
0 0 1 0 1 0 0 2 0 4
首都大学東京（2部）

・学芸大 加藤○高木～飯出
・3塁打 植田・2塁打 酒井

雨が強くなった6回、ヒットで出た植田を酒井が返して1点をとったあと、無死2、3塁のチャンスに代打大野がレフト前にヒット。

▼ベストナインの捕手に本学から飯出圭太郎（4年）。

春季1部最終成積

優勝	創価大	9勝2敗
2位	流経大	9勝3敗
3位	共栄大	6勝4敗
4位	東国大	6勝6敗
5位	杏林大	3勝8敗
6位	東学大	0勝10敗

男子サッカー

関東大学サッカーリーグ戦（2部）

勝利!! 入れ替えたが、もう一歩!

▼5月19日 日大稲城

日本大 3（2-1、1-1）2 東京学芸大

・学芸大の得点者 2分 鈴木魁人 81分 丹野雄斗（アシスト色摩）

開始早々鈴木が得点し、先制するが、日大がゴールをかさね1対3、学芸大も終盤に色摩のクロスに丹野が右足でゴール。しかし、反撃はそれまで。

▼5月25日入れ替え戦

順天堂大 3（2-1、1-1）2 東京学芸大

・学芸大の得点者 2分 鈴木 31分 荒川 37分山中 46分 山中

ホームグラウンドでの学芸大の初勝利に、選手・サポーター大喜び。先制されたが、そのあと終始試合をリードした。

▼5月29日東学大グラウンド

東京学芸大 4（3-2、1-1）3 青山学院大

・学芸大の得点者 24分色摩 31分荒川 37分山中 46分

▼6月1日 国士館大町田

国士館大 2（1-1、1-0）1 東京学芸大

・学芸大の得点者 18分荒川 浪貫（アシスト草住）

1対1の終盤82分国士館大はフリーキックを頭で合わせる。

〈アミノバイタル杯 関東大学サッカートーナメント1回戦〉

▼6月8日 時え柿

国士館大 3（2-1、1-0）1 東京学芸大

サッカー順位（勝点）

1位	慶応大	18
2位	国士館大	17
3位	日本大	15
4位	日体大	12
5位	拓殖大	11
6位	立教大	11
7位	東海大	11
8位	産能大	10
9位	東国大	8
10位	関学大	7
11位	東学大	6
12位	青学大	6

（同じ得点のときは、得失点差による。）

▲むさしのホール前での「東京学芸大学ウインドアンサンブルのミニコンサート」（6月4日）6月9日には、学芸の森ホールで第26回の「ベンダーコンサート」を開いた。

陸上競技

第98回関東学生陸上競技対校選手権大会

男子健闘、しかし50点差で涙
女子は22得点で、13位

関東インカレは、5月23日から相模原ギオンスタジアムで行われ、総合得点では男子1部では日大が8連覇、女子では筑波大が2連覇を達成した。

東京学芸大は、女子が13位（前回は、15.5点で14位）、男子は2部で健闘したがあと一歩3位に終わった。

2部から流経大と慶大が1部に昇格し、1部から明大と大東大が降格した。

〈女子1部〉
・三段跳び 6位 小川瑞穂 12m34
・やり投げ

女子1部総合得点

1位	筑波大	114
2位	日体大	100.5
3位	順大	70.5
4位	早大	65
5位	中大	59
13位	東学大	22

男子2部総合得点

1位	流経大	95
2位	慶応大	91.5
3位	東学大	91
4位	上武大	63
5位	東経大	44
6位	青学大	35
7位	立教大	34

〈男子1部〉
3位 森西清華 50m85
5位 望月知葉 49m63
・七種競技
2位 高橋このか 5471点（自己ベスト）
7位 興村彩音 5110点

〈女子2部（大学院）〉
・800メートル
1位 内山茂美 1分12秒48

〈男子2部〉
・100メートルハードル
1位 中野昇 14秒01
3位 前三盛高貴 14秒38
5位 北村一貫 14秒48
・400メートルハードル（19点）
1位 田邊ジョー 51秒73
3位 遠藤幹康 51秒92
4位 吉田京平 51秒97
・1万メートル競歩
3位 上田俊希 42分17秒34
5位 村手光樹 43分12秒98
・砲丸投げ（9点）
2位 栗本恭宏 15m06（自己ベスト）
7位 斉藤真 12m89（自己ベスト）
・やり投げ
7位 中野蒼星（1年）62m25（自己ベスト）
・走高跳び（15点を獲得）
1位 北井颯馬（1年）2m12
2位 久保本春佑 2m12
・十種競技（自己ベスト）
1位 本橋輝久 7072点（自己ベスト）
2位 小坪聖人 6503点
3位 雨宮大樹 6464点（自己ベスト）
1位から8位まで学芸大が独占。この種目だけで21点。
・4×100メートルリレー
4位 東京学芸大 40秒80
・4×400メートルリレー
8位 東京学芸大 3分17秒32

〈日本学生陸上競技個人選手権大会〉
6月9日 BMWスタジアム平塚
・男子400メートルハードル決勝
3位 吉田京平（4年）50秒82

〈第103回日本陸上競技選手権大会 混成競技〉6月9日 長野
女子七種で、高橋、興村が入賞
・女子七種競技
6位 高橋このか（4年）5250点
7位 興村彩音（3年）5235点
・男子十種競技
13位 本橋輝久（4年）6894点
・U20男子十種競技
10位 藤井康人（1年）6066点

男子バレーボール

関東大学バレーボール男子1部リーグ戦

入れ替え戦に勝って、1部残留

▼5月18日 浦安総合体育館

順天堂大 3（25-19、25-21、26-24）1 東京学芸大

▼5月25日入れ替え戦

東京学芸大（1部） 3（25-20、27-25、22-25、26-24）1 国士館大（2部）

慶応大が2部に降格し、かわって青山学院大が昇格した。

男子バレー春の最終順位

優勝	早稲田大	11勝
2位	東海大	10勝1敗
3位	明治大	7勝4敗
4位	中央大	7勝4敗
5位	筑波大	6勝5敗
6位	専修大	6勝5敗
7位	日体大	5勝6敗
8位	駒沢大	5勝6敗
9位	順天堂大	4勝7敗
10位	日本大	3勝8敗
11位	東京学芸大	1勝10敗
12位	慶応大	1勝10敗

（セット率により順位決定）

アメリカンフットボール

▼6月2日（アミノバイタルフィールド）（オープン戦）
青山学院大 24-3 東京学芸大

6月15日より国立大学リーグ戦が開催される。

むさしの広場

▼野球はこの秋もぜひ1部で試合をしてもらいたいと願っていたので、1部に残れてうれしかった。▼全員野球でがんばったのが勝因だが、4年生のがんばりはすごかった。▼代打でダメ押しのヒットを放った大野は、4年生19人の想いをのせて振り抜いた。リーグ中は苦しんだが、最後に意地を見せられてよかった。と語っている。▼陸上の関東インカレでは、東京学芸大は、流通経済大と慶大との大接戦となり、勝負は最終レースの4×400メートルリレー決勝にもつれこんだ。不運にも8位となり、わずか0点差で3年ぶりの昇格はならなかった。▼サッカーの対青山学院大戦、野球の入れ替え戦、夜や雨の降るなか試合場にかけつけてくれたファンの応援を続けてくれたチアーリーディング部のみなさんにお礼を言いたい。